

## 競技用具 設営・撤去手順書

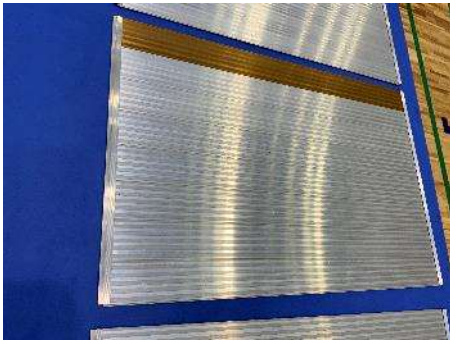
《参考写真》

・設営完了



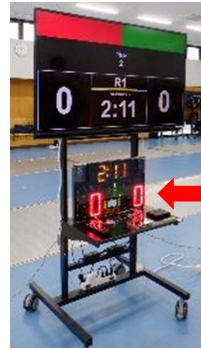
・競技用具

アルミピスト



総合ランプ

スコアボードシステム



審判器

リールセット



競技備品一覧

1	アルミピスト	5	HDMIコード (レンタル品)
2	総合ランプ	6	ドラムコード (レンタル品)
3	スコアボードシステム	7	ピスト表示布 (1～8)
4	リールセット	8	ピスト表示ラミネート (1～8)

## A 設営

【前提】養生シート敷き、墨出しは完了している。

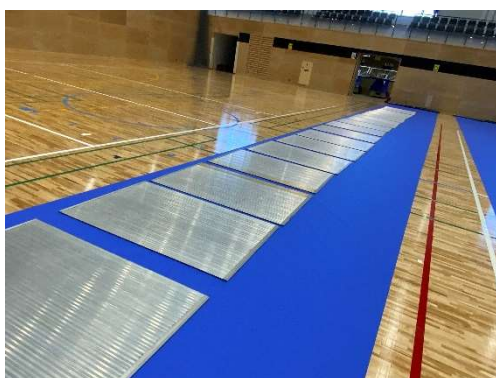
### 1 指示を出す競技団体が来てから競技用具設営作業を開始する。

### 2 アルミピストを設置する。

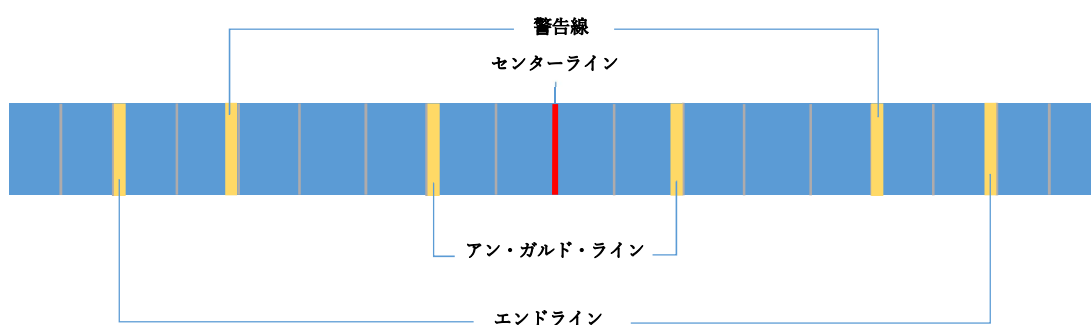
- (1) 機械室からアルミピストを運び出し、墨出した位置に並べていく。アルミピストは3台余るので、3台分は機械室に置いたままでよい。

#### ！注意！

- ・アルミピストは1セット18枚で構成されている。
- ・アルミピストの裏に番号が振られているので、番号順に運ぶこと。
- ・セットをバラバラにしないこと（同じ1番でも、違うセットの2番と組み合わせることはできないので、セットを崩さない）。
- ・アルミピストの両端には凹凸がある。凸の方が競技会場の外側（南北方位：1ピストの場合、北に凸）に来るように並べていく（1番が凸の場合もあれば、18番が凸の場合もある）。



- ・各ラインが規定とおりに並んでいること



- (2) アルミピストを並べ終わったら、凸を凹にはめ込んで、合体させていく。

### 3 スコアボードシステムを設置する。

- (1) スコアボードシステムを機械室から運び出すし、所定の位置に配置する。

#### ！注意！

- ・スコアボードシステムには1~10までの番号が振られている。
- ・1番を1ピストへというように、スコアボードシステム番号とピスト番号が合うよ

うに運ぶ。

- ・9、10番は予備のため、器具庫入って左側に寄せて置いておく。
  - ・機械室の段差を超える時はスコアボードシステムを持ち上げて運ぶため、必ず2人で運ぶこと。
- (2) スコアボードシステムに置くテーブル（中棚なし）を8ピスト分配置する。
  - (3) 審判器、コントローラーを台から一旦降ろし、審判器が乗っていた台の上にテーブル天板が来るように置く。

**！注意！**

- ・テーブルの高さが台の上に届かない場合は、テーブルの脚を伸ばす。台とテーブルが干渉しないように脚を十分に伸ばすこと（テーブルが不安定にならないようにする）。
- (4) 審判器、コントローラーをテーブルの上に置き、養生テープ（白）で審判器の脚を固定する。

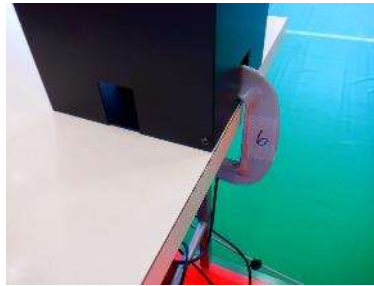
**4 総合ランプ、リールセットを各ピストに運び出す。**

**！注意！**

- ・スコアボードシステム同様、番号が振られているので、ピスト番号と同じ番号になるように配置する。
- ・9、10番は予備のため、スコアボードシステムの予備と一緒に器具庫に置いておく。

**5 総合ランプを設置する。**

- (1) 総合ランプを段ボールから取り出し、スコアボードシステムのテーブルの上に、スコアボードシステム正面から見て、右手に緑、左手に赤のランプを置く。
- (2) 段ボールの中に固定器具が入っているので、きつく締めてしっかり固定させる。



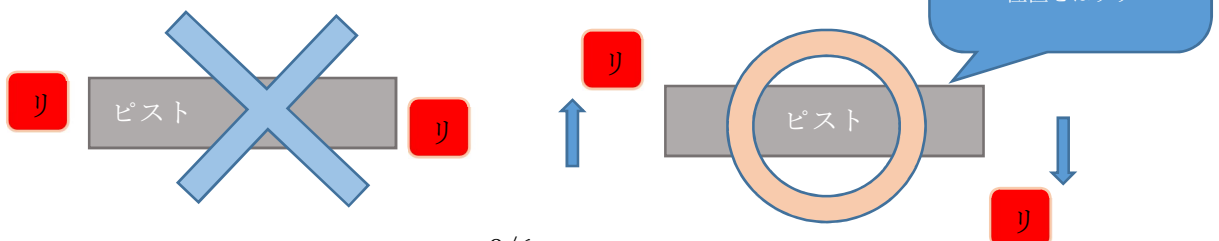
**！注意！**

- ・借用物のため、取扱いには十分気を付け、梱包材はきれいに段ボールに戻すこと。
- ・配線をする際にコード類を使用するので、段ボールは各ピストに置いたままにする。

**6 リールセットを設置する。**

**！注意！**

- ・借用物のため、取扱いには十分気を付けること。
- (1) リールセットをケースから取り出し、所定の位置に配置する。



- (2) リールセットに×印を書くように、養生テープ（緑）を貼り固定する。
- (3) ケースの中に入っているコードをリールセットと審判器「Reel/Enrouler」に差し込む。

## 7 ドラムコードをコンセントに差し込み、電気配線図の配線で各ピストに配置する。

### ！注意！

- ・ドラムからコードを全て引き出すこと。※発熱防止のため
- ・引き出したあとのコードはきれいに整頓すること。

## 8 スコアボードシステム、総合ランプの配線をする。



- (1) 総合ランプに電源コードを差し込む。
- (2) 総合ランプのコード（差込口が丸いもの）を総合ランプの「To Red」「From Green」にそれぞれ差し込み、緑ランプと赤ランプをつなぐ。
- (3) 総合ランプのコード（差込口が四角で、線が平たいもの）を緑ランプの「favero」に差し込む。コード反対側を審判器の「SERIAL DATA OUTPUT」に差し込む。
- (4) アルミピストのコード（赤色）を審判器の「Piste」に差し込む。コード反対側のクリップをアルミピストの中央線のあたりに、ピストの横から差し込む。
- (5) 総合ランプのコード類に「垂水市“番号”」のテープを貼る（撤去の際に番号や違う所有者の物が混じらないようにするため）。
- (6) 総合ランプ及びスコアボードシステムの電源コードをドラムコードに差し込む。  
 ※スコアボードシステムの電源コードは延長コードの1本のみ。  
 ※総合ランプの電源は緑ランプ及び赤ランプから各1本。  
 ※コンセントの差し込みが不安定（グラグラ）であればテープ等で固定する。
- (7) HDMI をスコアボードシステムのモニター「HDMI 2」に差し込む。

### ！注意！

- ・HDMI コードは PC 差込側とモニター差込側が決まっているので向きに注意する。  
正しい向きに差し込まなければモニターに PC 画面が表示されない。

## (8) 【2・3・6・7ピストのみ】

電気配線図のとおり延長コードをドラムコードに差し込み、配線する。

### ！注意！

- ・手順書に記載されている以外のコードには触れないこと。



## 9 コード類の養生をする。



- (1) モール等（布製）を使用して、リールセット、ドラムコードのコードを養生する。
  - (2) HDMIコードをアルミピストや選手席を避けるように配線し、スコアボードシステムの向かいの3人掛けのテーブルまで引く。モール等を使用して、養生する。
  - (3) 【2・3・6・7ピストのみ】  
延長コードをきれいに配線し、養生テープ（緑）で養生する。
  - (4) スコアボードシステムの周辺のコードを整頓し、テーブルの下に入れる。
- 10 ピスト表示布とピスト表示ラミネートを付ける。
- (1) ピスト表示布をスコアボードシステムのテーブルに養生テープ（白）で貼り付ける。
  - (2) ピスト表示ラミネートをスコアボードシステムのモニター裏に養生テープ（白）で貼り付ける。
- 11 総合ランプの段ボール及びリールセットのケースを器具庫に収納する。
- ！注意！**
- ・器具庫には表彰台等の表彰物品を置くので、邪魔にならない場所に番号順に収納すること。
- 12 全ての設営が終わったら、墨出しは外す。

設営完了後、競技団体が動作確認を行います。

## B 撤去

- 1 指示を出す競技団体が来てから競技用具撤去作業を開始する。
- 2 総合ランプの段ボール及びリールセットのケースを器具庫から出し、番号どおりに各ピストに置いていく。
- 3 総合ランプを撤去する。
  - (1) 総合ランプのコード（差込口が丸いもの）、（差込口が四角で、線が平たいもの）、電源コードを抜く。
  - (2) 設営の際に貼った「垂水市“番号”」のテープをはがす。

**！注意！**

    - ・元から貼ってあったテプラははがさない（特にリールセットのコード）。
  - (3) 3種類 計4本のコードをきれいにまとめたら、総合ランプの段ボールの中に入っている小さい箱に戻す。
  - (4) 総合ランプをテーブルから外し、総合ランプに梱包材を包む。固定器具は小さい箱に戻す。
  - (5) 梱包材に包んだ総合ランプを段ボールの中に戻す。その上に小さい箱を置く。
  - (6) 段ボールをひもでとじる。
- 4 リールセットを撤去する。
  - (1) 審判器からリールセットのコードを外し、コードをきれいにまとめる。
  - (2) リールセットに貼っていた養生テープを慎重にはがし、リールセットとまとめたコードをケースに戻す。
- 5 スコアボードシステムを撤去する。
  - (1) ドラムコードからスコアボードシステムの電源コードを抜く。
  - (2) 機械室のもとにあった場所へ戻す。
- 6 アルミピストを撤去する。
  - (1) 審判器とアルミピストをつないでいた赤いコードを抜く。赤いコードは競技団体に返却する。
  - (2) アルミピストを1枚ずつ解体していく。
  - (3) 番号順に機械室のもとにあった場所へ戻す。

**！注意！**

    - ・セットが他のセットとバラバラにならないようにすること。